



令和元年度 教育相談（初級）研修講座

茨城県教育研修センター 教育相談課 ☎0296-78-3219

【本研修の目的】 学校教育相談で用いる基本的なカウンセリングの技法を学び、不適応問題の予防や問題解決に向けた児童生徒や保護者との関わりに生かす。
【受講者数と内訳】 80人（小学校：27人，中学校：27人，中等教育学校：2人，高等学校：9人，特別支援学校：5人）

🌱 第1日を実施しました 🌱

○講義・演習「カウンセリングの理論と実践」



茨城大学大学院教授の生越達（おごせ とおる）先生にお越しいただき、ご講義いただきました。

生越先生は、「教員の『こうあってほしい』という思いが児童生徒を苦しめていることがある」と教員が陥りやすい考え方についてご指摘くださいました。教員がカウンセリングを行うことの難しさを改めて再認識させられる内容でした。生越先生のユーモアに富む飾らないお話しぶりもあり、受講者から積極的な発言や質問が多数出て、非常に有意義な時間となりました。

間となりました。

受講者からは、「カウンセリングを長年続けている方にしか語れない興味深い内容だった。」「生越先生の話をもた聴きたいです。」「『待って聴く』教師になりたいと思いました。」などの感想が寄せられました。

○講義・演習「個別面接の基礎1」

初級では、「受容」「繰り返し」の二つの面接技法を学びます。技法についての講義の後、校種別の受講者で編成された班に分かれ、演習を行いました。



演習では、技法を意識した個別面接のロールプレイに挑戦し、観察者役の先生から自分の聴き方について、良い点と改善点についてコメントをもらいました。この演習を通して、「意外な面を他の先生に認めてもらえて、自信になった」、「いかに自分が話を聞いていないかを実感した」など、聴き手としての自分を客観的に捉えることができた受講者が多かったようです。

「職場での人間関係の構築にも役立つ」と書いてくださった受講者もいました。是非、日々の教育活動の中で実践してほしいと思います。